

自作教具の活用事例

【作品名】 「おわり」が分かる	【学校名】 日立市立諏訪小学校
【活用できる領域・教科等】 生活全般 学習全般	【制作者名】 佐藤 恵美
【制作の意図】 目先のことに興味があると、集中できずに学習や活動に取り掛かれなかったり、途中で離脱してしまったりする児童が、始まりと終わりを意識し、意欲的に目的をもって活動に取り組むことができるように制作した。	【使用方法】 活動が終わったら一つずつ「おわり」の袋に入れていく。ボードに何もなくなったら「おわり」が分かる。
【制作上の工夫】 コンパクトで持ち運べ、どんな場面にも対応できるようにする。 分かりやすいように、イラストを入れる。 端的な言葉で表す。	【見取り図】  A5のホワイトボードにファスナーケースを両面テープで貼り付ける  書き込めるカードを作っておくと、様々な場面で活用できる。
【写真】 	【使用効果と応用発展】 教師が声掛けをすることなく、主体的に朝の用意ができるようになってきた。 学習や活動に見通しがもてるようになり、集中して取り組むことができるようになってきた。 ボードに貼る項目を変えれば、日程の変更があった時、特別な行事、授業など、あらゆる場面で応用できる
【材料・材質・部品等】 ホワイトボード（A5） ファスナーケース（A6） カード（ラミネートしたもの） ひも	